

令和4年度 コミュニティ研修会

令和4年11月11日（金）、うずしお会館2階第1会議室で、鳴門市自治振興連合会主催の「令和4年度コミュニティ研修会」が開催されました。

「人口減少時代における市民主体のまちづくり」という演題で、徳島大学 総合科学部 准教授の田口太郎さんにご講演いただきました。

コロナの影響で2年ぶりの開催となったこの研修会には、約70名の方にご参加いただき、人口減少が進み、価値観が多様化した社会の中で、「住民」という枠にとらわれすぎず、多様な担い手をイメージしつつ、いかに市民が中心となったまちづくりができるかについて学び、これからの鳴門市における市民主体のまちづくりについて考える機会となりました。



主催者である鳴門市自治振興連合会
益岡会長の挨拶



久しぶりに多くの方が集まった研修会を開催することができました！

講師



徳島大学 総合科学部
准教授 田口太郎さん



参加者の皆さんは、今後の自分達の住む地域のことを考え、熱心に講演を聞いていました。



田口先生は、自分が徳島県佐那河内村の農村集落に移住し、どのような地域活動に参加しているかなど、実体験を織り交ぜながら、分かりやすく説明してくださったので、あっという間の2時間でした。



主催者である鳴門市自治振興連合会
藤村副会長のお礼のことは